

平成29年6月6日  
 東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

標 題	今年「すもも」が直売所でお目にかかれそうです。
-----	-------------------------

(ダイジェスト)

雲南管内では産直市に果樹が少ないため、H25年から産直用果樹として「すもも」を推進してきた。本年で5年目をむかえ、ようやく一定量の収穫が見込める状況となりました。このたび、成熟期までの果実管理及び病虫害防除について講習会を行いました。無事収穫までたどり着けるよう引き続き支援を行っていきます。

雲南管内では、産直・園芸プロジェクトで平成25年度から産直向け果樹として「すもも」について実証ほの設置や定期的な巡回、講習会開催等の推進を行ってきました。

この背景には、消費者から「産直市には果樹が少ない」との声がアンケート等で多く出ていることが上げられます。

5年目となった今年度は、植栽4～5年目の生産者を中心にまとまった量の果実結実が見られ始めてきました。収穫が見込めるようになったので、5月29日に収穫を念頭においた春季講習会を開催しました。

講師として、管内で既に果樹専業栽培を行っている「ココロノファーム」吉廣氏より、摘果と傘かけの説明のあと、実際に同氏の園で実演と体験を行いました。

また、普及部からは収穫時に大きな問題となる灰星病について、年間をとおした防除の流れの詳しい説明を行いました。

これから梅雨期にかけ、果実の肥大とともに病害や鳥獣害など被害を受けやすくなりますが、収穫まで辿り着けるよう定期的な巡回を中心に指導を行い、生産者、消費者の期待に応えたいです。



摘果の実演（吉廣講師）



傘かけ体験風景